第６学年　学級活動（生活安全）　　　　　　　　　　　　　　　場所：６年２組教室

ＳＮＳの安全な使い方について考えよう

指導者　　馬場　亨

**１　目標**

　・スマートフォンや携帯電話等を使用するときの危険性を知り、情報を発信するときに責任をもつことの大切さに気付くことで、安全に利用できるようにする。

**２　新学習指導要領との関連【学級活動】**学級活動(2)－ウ

　ウ　心身ともに健康で安全な生活態度の形成

　　現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

**３　単元について**

　　情報化が進む現代社会において、インターネットや携帯電話、スマートフォンの普及は目覚ましいものがある。本校においても、学年が上がるにつれ、携帯電話等を所持する児童は増える傾向にあり、６年生では７０％の児童が携帯電話やスマートフォンを所持している。現段階では、それらを家族との連絡のみに使用している児童が大半であるが、中には携帯ゲーム機を使って友達とメッセージのやり取りをしている児童もいる。また、中学入学を機にスマートフォンを持つ児童の数が飛躍的に増加する傾向にあることから、６年生の３学期にＳＮＳの安全な使い方について学ぶことは重要であると言える。

　　本学級の児童は、５年生の国語科、社会科の学習や６年生のインターネット啓発講座において、情報社会の基本的な仕組みや様々な情報を取捨選択することの必要性、一度発信した情報は完全に消すことはできないことなどを一通り学習している。しかし、これまでの学習では情報の受け手としての側面が大きく、自分が情報を発信する当事者となったときにどのような注意が必要かということについては不十分である。そこで、本単元の学習を通して、情報モラルの中でも特に「受け手への十分な配慮に基づいて情報を発信できる能力や態度」を身に付けさせたい。

**４　主題に迫るための手だて**

　・実話をもとにした教材を使用することにより、ＳＮＳ上のトラブルを自分にも起こり得る身近な問題として捉えさせる。

　・カード教材を用いて考え、話し合うことを通して、人によって感じ方が違うことや自分も知らないうちに人を嫌な気持ちにさせているかも知れないことに気付かせる。

**５　指導計画　（１時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ☆ねらい　○学習活動 | ◎安全教育の視点に立った留意点　■評価 |
| １(本時) | ☆言葉の捉え方は人によって違うことを理解し、ＳＮＳの適切な使用方法について考える。○友達とＳＮＳのやり取りをしているときに起こり得る危険について考える。○自分が言われると嫌な言葉について考え、話し合う。 | ◎危険予測の場面において実話をもとにした教材を提示することで、児童がＳＮＳ上でのトラブルを自分のこととして考えられるようにする。■ＳＮＳにおける文字だけのコミュニケーションの特性を理解し、情報を発信するときの留意点について考えている。 |

**６　本時の展開 （１／１）**

**（１）ねらい**

　　・ＳＮＳ上の文字だけのコミュニケーションの方法について、実際のコミュニケーションとの違いに気付き、適切な使用方法について考える。

　　・「言葉」についてカード教材を用いて考えることを通して、言葉の捉え方は人によって違うことを理解する。

**（２）指導の実際**

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動　・予想される児童の反応 | ◎安全教育の視点に立った留意点■評価（評価方法） |
| ○ＳＮＳについて知っていることを発表する。　・LINE、Facebook、Twitter、Instagramなどを聞いたり見たりしたことがある。　・実際に、友達とメッセージのやり取りをしたことがある。○本時の学習課題を知る。ＳＮＳの安全な使い方について考えよう。○LINEでの会話の映像を見て、この後どんなことが起こるか考える。　・この表現では「おもしろい」という自分の気持ちが相手に伝わらず、けんかになってしまう。○このようなトラブルを回避するためには、どうすればよいか考える。　・メッセージを送信する前に、内容をもう一度確認する。○５枚のカード（「まじめだね」「おとなしいね」「一生懸命だね」「個性的だね」「マイペースだね」）を、自分が言われたら嫌な順番に並べかえる。○隣同士で、自分が選んだカードとそのカードを選んだ理由を発表し合う。○ＳＮＳの使い方について分かったことや、これからどのように使っていきたいかについてワークシートに書き、発表する。　・ＳＮＳは相手の顔が見えない文字だけのやり取りなので、メッセージを送るときは読み直してから送信したい。　・自分に悪気はなくても、相手にとっては嫌なことかもしれないから、メッセージを送るときは相手の気持ちになって考えるようにしたい。 | ◎ＳＮＳは便利な点がある反面、多くのトラブルを引き起こしていることを確認する。◎ＳＮＳのトラブルは、ネット上の「書きこみ」に関するものが多いことに気付かせる。◎ＳＮＳ上では、「おもしろくない」と「おもしろくない？」では相手の捉え方が全く違ったものになることに気付かせる。◎相手の表情が見えないネット上では、直接会って話をしたり電話で話したりするときよりも、さらに細かな注意が必要であることを押さえる。その上で、内容を確認するだけで十分かどうか問いかける。◎自分が悪口だと思っていないことであっても、時と場合、相手によっては悪口と捉えられることがあることを実感させる。■ＳＮＳにおける文字だけのコミュニケーションの特性を理解し、情報を発信するときに気を付けることについて考えている。（ワークシート） |